



## 2019年3月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第174号

主 小松クラブ会長 明るく・楽しく・前向きに  
湘南・沖縄部部长 心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！  
東日本区理事 為せば、成る  
題 アジア太平洋地域会長 Action!  
国際会長 私たちは変えられる

厚木クラブホームページ：  
<http://ys-atsugi.jimdo.com/>



### 沖縄2クラブ部長公式訪参加報告

2019年2月16日(土)～17日(日)沖縄2クラブへの湘南・沖縄部佐藤部長公式訪問を実施し、厚木クラブからは佐藤部長、日下部次期会長、川口直前会長、堀田の4名が参加いたしました。

終了後2次会、3次会と進み沖縄の暖かい夜を満喫いたしました。

#### 16日

13:30頃那覇空港に到着し昼食。ホテルにチェックイン後、国際通りを散策しタクシーで沖縄YMCAに向かいました。

18時からの合同例会では点鐘。ワイズソング、祈りと進み、各クラブ会長によるクラブ報告、佐藤部長、森田次期部長、宮内理事の挨拶があり、今後の方針など区全体の考えを示していただきました。

また、沖縄クラブに大城さんが入会され、入会セットを佐藤部長よりお渡しし出席者全員で祝福しました。



#### 17日



沖縄YMCAのマイクロバスを使用したエクスカーションに参加し、普段行けないような場所に案内していただきました。

沖縄の明るい住宅街と2日間にわたる温かいおもてなしに心から感謝いたします。

(堀田)



閉会の後懇親会に移り、食前感謝が行われ、乾杯に移りました。その後懇親を深めたわけですが、料理はほとんどが手作りのものを用意していただき、どれもやさしい味で美味しくいただきました。

### 横浜YMCA会員大会参加報告

2019年2月11日、横浜とつかYMCAにて『横浜YMCA会員大会』が行われました。厚木ワイズ

メンのメンバー(小松、佐藤、川口、森田、日下部)と一緒に参加しました。いじめの無い社会、人間社会での共存、共和について、年齢を問わず、若者と共に話し合えた貴重な時間でした。

若者達が、自己主張だけではなく、人の話をよく聞き、その人が何を望んでいるかを良く理解し合いながら人との交流を進めていく！と力説しているのを聞き、とても安心感を覚えました。

スマホ時代になり老若男女問わずそれぞれの好みの世界だけで生きていても、あまり不都合の無い時代、人間形成にどうなのだろうか？と迷う時代の中、少しばかりの安心と希望、そして次世代の若者達への希望を憶えました。貴重な時間に感謝致します。



(徳澤洋子)

## 東京町田スマイリングクラブチャーターナイト報告

15:00 伊藤幾夫(東京多摩みなみクラブ)さんの司会によりチャーターナイトが開催されました。

### 第1部 (15:00~)

開会点鐘く、ワイズソング、聖句・祈祷、スポンサークラブ代表挨拶、来賓、東日本区役員紹介、設立経過報告、国際協会加盟認証状伝達式、決意表明・ク

ラブメンバー紹介、祝辞、記念品贈呈、閉会点鐘、記念写真撮影と順調に進み、第一部は終了しました。



厚木クラブからの参加者は佐藤、小松、石井。川口、北村の5名でした。



### 第2部祝会 (16:15~)

第二部は竹尾信吉(東京町田スマイリングクラブ)の司会で行いました。

開会の言葉、食前感謝、乾杯と懇談となりアトラクションとしてスマイリングクラブらしくソプラノ・バリトンデュオ(ソプラノ:谷口美歩、バリトン:竹尾信吉、ピアノ:荒川亜希子)があり、和気あいあいの内に終了いたしました。

クラブ名の通り参加者裏笑顔あふれるチャーターナイトとなりました。

厚木クラブもスポンサーとして今後ともバックアップしていきたいと思えます。

(小松)

## 厚木クラブ第2例会報告

### 2月9日(土) 第二例会報告(16時半~18時)

出席者:小松、佐藤、石井、川口、小林秀、日下部、森田、田口

前日からの大寒波、積雪の不気味な天気予報通りの小雪のなか小松会長を含む8人出席。また日下部さんには次期会長内諾に伴い、2月から第二例会にも出席いただくこととなりました。

打合せ、連絡事項

1. クラブ会則第11条を参考に次期クラブ役員、幹事、監事、諸係り候補を選びました。

2月第一例会で正式決定の議決を願うこととなります

どの係りを引き受けても、垣根にこだわらず忙しいところには加勢して、クラブの円滑な活動を実現させるようぜひ心掛けましょう。

- 2月15日締め切りの区費、諸基金の納入金額の確認、ならびに期末までの支出予定を確認。
- 3月の厚木YMCAの専門学校卒業式(3月20日)日本語学科日本語スピーチコンテスト(3月6日)優秀者へ授与する賞品の手当、石井副会長に一任。
- 佐藤部長より鶴見の新クラブの進捗状況など部の最近の状況説明あり。
- 石井副会長より市政の現況説明あり。
- 小林書記から子ども食堂への協力について希望が述べられたが、燃える気持ちは十分わかりましたが、諸事情が不明で決済には時期尚早と私は感じました。

#### ☆2次会(18時~19時)

川口幹事ほか3人で次年度の行事として日帰り旅行、温泉への一泊旅行(案)などの話に花が咲きました。

(田口堅吉記)

#### 3月クラブ活動予定

- 3月16日 厚木クラブ第2例会
- 3月17日 (仮)つるみクラブ設立総会
- 3月27日 厚木クラブ第1例会(浅羽氏卓話予定)

#### 幹事より一言

2月になると毎年思うことですが、BFの基金になるという使用済み切手の取り扱いの件です。1年間蓄えておいた使用済みの切手、少しでも東日本区の基金として役立ってほしいと思っています。毎年、あわただしく集められ、東日本区の担当者に渡されています。各クラブでのコストとの収支はプラスになっているのでしょうか。収集方法について、現状のままでよいのか、一度マニュアルを見直して、より効果的な方法を考えたいものです。

#### 厚木YMCAより

みつかる。  
つながる。  
よくなっていく。



「横浜YMCA国際・地域協力募金」は、毎年1,000万円を超える募金が寄せられ、バンコクやミャンマー、カンボジアなどのYMCAを通じて現地の人びとの自立と発展のためのプロジェクトや多文化共生や平和の取り組みなど地域の中で困難な状況にある人びとを支援する活動に活用されます。そして今年度より、ミャンマーで新しい支援プロジェクトがスタートしました。

バゴー管区にあるタンゲーYMCAへの支援協力として行う新しいプロジェクトは、介護教育活動です。タンゲーYMCAとともに、自宅で家族介護を行う人たち向けの介護技術の習得と生活改善に向けた人材育成支援を行います。今回、介護福祉科の専門学校生3名がボランティアに参加しました。

「介護」が職業として成立していない山岳地域です。「介護」とは何か、から始まり、寝たきりになることへのリスク、人体の名前と働き、介護予防、高齢者体験、日常生活での衛生管理、身体の動きの基本などを2日間かけて学び、3日目はフィールドワークとして、自宅で高齢者をお世話している参加者の家を訪問して、介助の技術や生活環境の改善アドバイスなどを行いました。参加した31名の研修生は3日間、真剣に、楽しみながら参加している様子がとても印象的でした。参加した方々のアンケートには次のような記載がありました。

「今まで、正しい技術を教えてくれるところはありませんでした。ミャンマーでこのような研修を教える専門学校や、高齢者にサポートするプログラムなどがあればいいと思います」

「介護については期待していました。実際に(高齢者)体験をして、その人達のことを理解しました。介護には正しい知識と技術が必要です」

「(介護の)知識と技術は必要です。優しさ興味で行なっても、正しい知識と技術を理解しなければ、うまくいきません」

初めて介護にふれる人たちを目の当たりにした学生たちは、日本の介護、そして自分たちの学びに誇りを感じたことと思います。参加した現地のユースと、言葉を越えてかかわりを持てたこともまた、大きな自信になって行くことを期待しています。